



2026年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年7月15日

上場会社名 株式会社プラップジャパン 上場取引所 東
コード番号 2449 URL <https://www.prap.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 勇夫
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 望月 俊男 (TEL) 03(4580)9111
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年8月期第3四半期の連結業績(2025年9月1日～2026年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年8月期第3四半期	5,607	5.6	512	0.2	518	△0.3	327	5.3
2025年8月期第3四半期	5,312	5.5	511	24.2	519	24.0	310	129.3

(注) 包括利益 2026年8月期第3四半期 390百万円(27.7%) 2025年8月期第3四半期 305百万円(46.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年8月期第3四半期	73.65	—
2025年8月期第3四半期	70.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年8月期第3四半期	7,374	5,827	75.5
2025年8月期	7,008	5,600	76.5

(参考) 自己資本 2026年8月期第3四半期 5,567百万円 2025年8月期 5,363百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年8月期	—	0.00	—	41.00	41.00
2026年8月期	—	0.00	—	—	—
2026年8月期(予想)	—	—	—	41.00	41.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年8月期の連結業績予想(2025年9月1日～2026年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	8,100	9.6	812	13.0	812	10.9	504	5.8

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年8月期3Q	4,679,010株	2025年8月期	4,679,010株
2026年8月期3Q	223,878株	2025年8月期	240,078株
2026年8月期3Q	4,446,824株	2025年8月期3Q	4,428,768株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
(収益認識関係)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「世の中のあらゆる関係性を良好にする」というミッションのもと、日本・アジアにおいて、PRを起点にデータを活用して広報PR/経営/マーケティング領域の課題を解決するコミュニケーションコンサルティング・グループへの進化を目指し、クライアントへの提供価値の向上に努めています。

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、米国経済政策の動向や日中関係の緊張感の高まり、世界的な情勢不安などにより先行きに対する不透明感があるものの、内需を中心に個人消費や設備投資などはいずれも底堅さを維持しており、AI開発・利活用の拡大も背景に、緩やかな景気の持ち直しの動きは継続しております。

当社においては、事業戦略やAI活用に向けた研究投資、クライアントサービスにおける先進的な事例、人的資本経営の推進に向けた取り組みなどが総合的に評価され、Agency of the Year 2025にて最優秀賞となるGoldを受賞いたしました。

2024年10月に発表した中期経営計画の達成に向け、クリエイティブを活用したPRやマーケティング、デジタル領域の強化を目的として、新たにCCO（チーフクリエイティブオフィサー）を新設いたしました。また、経営領域の強化を目的として、リエゾン社と資本業務提携を締結し、サービス支援体制を強化しております。プラップノードではロゴラボ社よりSaaS型サービスの事業譲受を行い、PRオートメーションの新たなサービスラインの拡充に取り組みました。さらに、海外事業ではインドネシア市場において現地企業と業務提携を締結し、当社の東南アジア市場における事業強化を図るとともに、東南アジアにおけるグループ事業のさらなる成長と経営効率化を推進するため、シンガポールに拠点を置く3社の統合を決定いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,607百万円（前年同四半期比5.6%増）、営業利益は512百万円（前年同四半期比0.2%増）、経常利益は518百万円（前年同四半期比0.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は327百万円（前年同四半期比5.3%増）となりました。

セグメントごとの経営成績などの概要は、以下のとおりです。

①コミュニケーションサービス事業

コミュニケーションサービス事業では、コミュニケーション戦略策定などのコンサルテーション、メディアやインフルエンサーとの関係性を構築するリレーション活動や、情報をメディアを通じてステークホルダーへ伝えるパブリシティ活動を含めた情報流通のデザインなど、コミュニケーション活動において包括的なサービスを提供しております。

ニーズが拡大しているIT・ヘルスケア案件や、当社グループが豊富な実績を有する危機管理広報コンサルティングの引き合いが増加するとともに、大型スポット案件の獲得も積み重ねました。また、さらなる事業基盤の強化に向け、プラップジャパンを中心にAIの活用に向けた研究開発投資を実施するとともに、クリエイティブを活用したPR業務の強化、DEIやメディアプロモートに関する新規サービスの提供、リエゾン社との資本業務提携を通じた経営領域の支援体制の強化を進めました。

これらの結果、投資を上回る収益を確保し、コミュニケーションサービス事業の売上高は3,715百万円（前年同期比7.8%増）、セグメント利益は487百万円（前年同期比16.3%増）の増収増益となりました。

②デジタルソリューション事業

デジタルソリューション事業では、広報PRのデジタルトランスフォーメーション（DX）を推進するクラウドツールの提供、デジタル広告やソーシャルメディアの運用、動画・バナー・WEBサイト等のクリエイティブ制作といったサービスを提供しております。

プラップノードが提供する広報PR業務のSaaS型クラウドサービス「PRオートメーション」は、さらなるクライア

ント獲得に向け積極的な投資を実施する中、新規機能の追加、デザイン・操作性の刷新、セキュリティ強化等の全面的なリニューアルを実施するとともに、ロゴラボ社からの事業譲受を通じてサービスを拡充し、導入クライアント数は着実に伸長、売上も拡大いたしました。また、プレジジョンマーケティングは、LINEやLinkedInの運用支援に関するサービス提供の拡充を進めるとともに、「YMAAマーク（薬機法医療法遵守広告代理店認証）」を取得し、ヘルスケア領域でのデジタルソリューションサービスの強化を行っております。

これらの結果、デジタルソリューション事業の売上高は891百万円（前年同期比6.0%増）、セグメント損失は2百万円（前年同期はセグメント損失17百万円）の増収損失縮小となりました。

③海外事業

海外事業では、訪日外国人誘致のための情報発信、日本市場に進出する海外クライアント向けのPR・マーケティングサービス、海外市場に進出する日系クライアント向けのPR・マーケティングサービス、海外現地クライアント向けのPR・マーケティングサービスなどを提供しており、ベトナムやタイにおける拠点新設に加えて、現地企業との業務提携も積極的に推進し、東南アジアにおける市場の網羅性とサービス提供体制の強化を図っております。また、東南アジアにおけるグループ事業のさらなる成長と経営効率化を推進するため、シンガポールに拠点を置く3社の統合を決定いたしました。

日系クライアントの海外進出意欲の高まりに加え、現地クライアントからの引き合いも拡大する中、前期にWILD ADVERTISING & MARKETINGがシンガポール政府のクリエイティブ優先代理店に選定されたことを受け、政府系案件の引き合いも増加いたしました。一方で、世界的情勢不安や日中関係の緊張感が続く中、中国および東南アジアにおける大型案件が延期になったことによる減収分を補うには至りませんでした。

これらの結果、海外事業の売上高は1,474百万円（前年同期比3.3%減）、セグメント利益は9百万円（前年同期比89.2%減）の減収減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、6,375百万円と前連結会計年度末に比べ417百万円の増加となりました。これは、現金及び預金386百万円、棚卸資産100百万円が増加したことが主な要因であります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、998百万円と前連結会計年度末に比べ51百万円の減少となりました。これは、ソフトウェア14百万円が増加したものの、のれん42百万円、投資有価証券26百万円が減少したことが主な要因であります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、1,510百万円と前連結会計年度末に比べ132百万円の増加となりました。これは、未払法人税等30百万円が減少したものの、契約負債165百万円が増加したことが主な要因であります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、36百万円と前連結会計年度末に比べ6百万円の増加となりました。これは、固定負債その他に含まれる長期リース債務6百万円が増加したことが主な要因であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、5,827百万円と前連結会計年度末に比べ227百万円の増加となりました。これは、利益剰余金145百万円、為替換算調整勘定59百万円が増加したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年8月期の業績予想につきましては、現時点において2025年10月15日に公表した「2025年8月期決算短信」に記載の業績予想から変更はありません。

なお、予想数値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業況の変化等により、予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,304	4,690
売掛金	1,303	1,225
契約資産	0	—
電子記録債権	15	24
棚卸資産	166	267
その他	168	167
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	5,958	6,375
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	81	74
その他（純額）	60	52
有形固定資産合計	141	127
無形固定資産		
のれん	112	69
借地権	0	0
ソフトウェア	175	190
ソフトウェア仮勘定	—	9
無形固定資産合計	288	269
投資その他の資産		
投資有価証券	323	296
差入保証金	242	243
繰延税金資産	43	52
その他	14	7
貸倒引当金	△3	—
投資その他の資産合計	619	601
固定資産合計	1,050	998
資産合計	7,008	7,374

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	518	592
未払法人税等	149	118
契約負債	212	378
賞与引当金	39	32
役員賞与引当金	8	5
その他	449	382
流動負債合計	1,377	1,510
固定負債		
退職給付に係る負債	4	—
その他	26	36
固定負債合計	30	36
負債合計	1,408	1,546
純資産の部		
株主資本		
資本金	470	470
資本剰余金	444	450
利益剰余金	4,457	4,603
自己株式	△175	△163
株主資本合計	5,197	5,361
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	44	24
為替換算調整勘定	121	181
その他の包括利益累計額合計	165	206
非支配株主持分	237	259
純資産合計	5,600	5,827
負債純資産合計	7,008	7,374

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年5月31日)
売上高	5,312	5,607
売上原価	3,263	3,529
売上総利益	2,049	2,078
販売費及び一般管理費	1,537	1,565
営業利益	511	512
営業外収益		
受取利息	1	5
為替差益	2	—
その他	6	6
営業外収益合計	9	12
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	—	5
譲渡制限付株式関連費用	0	—
その他	0	0
営業外費用合計	1	6
経常利益	519	518
税金等調整前四半期純利益	519	518
法人税等	173	197
四半期純利益	346	320
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	35	△6
親会社株主に帰属する四半期純利益	310	327

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年5月31日)
四半期純利益	346	320
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6	△19
為替換算調整勘定	△47	89
その他の包括利益合計	△40	69
四半期包括利益	305	390
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	284	367
非支配株主に係る四半期包括利益	21	22

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年5月31日)
税金費用の計算	当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

Ⅰ 前第3四半期連結累計期間(自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コミュニケーションサービス事業	デジタルソリューション事業	海外事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,299	594	1,419	5,312	—	5,312
セグメント間の内部売上高又は振替高	149	247	104	501	△501	—
計	3,448	841	1,524	5,814	△501	5,312
セグメント利益又は損失(△)	419	△17	90	493	18	511

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額には、セグメント間取引消去18百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年9月1日 至 2026年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コミュニケーションサービス事業	デジタルソリューション事業	海外事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,648	597	1,361	5,607	—	5,607
セグメント間の内部売上高又は振替高	67	293	112	474	△474	—
計	3,715	891	1,474	6,081	△474	5,607
セグメント利益又は損失(△)	487	△2	9	495	17	512

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額には、セグメント間取引消去17百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年5月31日)
減価償却費	94百万円	84百万円
のれん償却額	43百万円	43百万円

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期連結累計期間(自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	コミュニケーションサービス事業	デジタルソリューション事業	海外事業	
日本	3,299	594	186	4,079
中国	—	—	816	816
その他海外	—	—	416	416
顧客との契約から生じる収益	3,299	594	1,419	5,312
外部顧客への売上高	3,299	594	1,419	5,312

(注) 収益は当社及び当社グループ会社の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年9月1日 至 2026年5月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	コミュニケーションサービス事業	デジタルソリューション事業	海外事業	
日本	3,648	597	202	4,448
中国	—	—	802	802
その他海外	—	—	356	356
顧客との契約から生じる収益	3,648	597	1,361	5,607
外部顧客への売上高	3,648	597	1,361	5,607

(注) 収益は当社及び当社グループ会社の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。